



「種子法」復活法案が出された理由

今年の四月で廃止された「種子法の復活」って何だろう？種子法は一九五五年(昭27)制定。米、麦、大豆等主要作物の種子を国や都道府県が開発、管理、普及する法律。地域の条件に合った種子を各地の農業試験場等が開発。農家の生産を支援。コシヒカリ等も作られた。

TPPの日米交渉の中で日本政府は「外国投資家等からの意見を規制改革会議に付託、必要な措置を取る」と約束。モンサント等の要求を受けて、昨年種子法廃止が決められた。

一方、米国のモンサント社等の巨大企業は、除草剤と、その除草剤に耐えられる遺伝子組換えの作物を開発。その種と除草剤をセツトにして農家に売っている。但し、作った作物から種子を採る事は禁止。これでモンサント等は毎年、種子と除草剤を農家に買わせて儲け、世界の種子の七割を支配している。

これで農業試験場の予算がカットされれば、試験場の種子の数倍の値段の民間の種子を買わなければならない。零細農家は立ちゆかない。これでは農業が成り立たない。幾つかの県で条例で種子法の趣旨を残そうとしている。

本年四月、六野党・会派は日本の農業と食の為、種子法復活法案を衆院に共同提出した。あなたはどうか思われますか？

あなたはどう思われますか？

カフェ エ タニファ

沖縄県石垣市大川

二〇一八年六月



「カフェ・タニファ」は石垣島の市街地の中心近くにある。オーナー一家はニューヨークに滞在。ヨットで旅して石垣島に戻ってきたという。

壁に掛かった緑の輪の中の赤い像がタニファ。TANIFFAと綴る。ニューヨークのマオリ神話に登場する長い尾と光る目を持つ巨大な伝説上の水辺の生物。

カフェの一隅ではウクレレの伴奏で美しい歌声が響く。

近々このカフェの常連さんの結婚式があり、友達みんなが祝って演じると云う。

石垣島では何故か人と人との距離が近いように感じられる。沖縄方面の特質なのだろうか？

ここにいと、皆昔からの知り合いのような感じがする。

来週は休みます

